



学校だより

7月号

# ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 今野裕子

令和5年6月30日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い  
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

## まな あ ひび あ 学び合い、響き合う

こう ちょう こんの やすこ  
校長 今野 裕子

今年で27回目を迎えた「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」。横浜市内の小中学生一人ひとりが国際平和への意識を高め、国際社会で自分たちのできることを実践しようとするグローバル人材の育成を趣旨としており、藤の木小学校では、毎年6年生が取り組んでいます。今年もまず、6年生一人ひとりが「国際平和のために自分がやりたいこと」について、国連が定める持続可能な開発目標SDGsの17の視点に関連付けて考え、日頃生活の中で疑問に思ったこと、調べを進めて分かったこと、これからこんな取組をしてみたいという考え等を、経験や体験をもとに自分の意見としてまとめ、作文にしました。そして、6年生の仲間とお互いのスピーチを聴き合ったり、次の学校のリーダーとなる5年生にもスピーチを聴いてもらったりする中で、学校の代表を選考しました。

『世界では食べるものがなく困っている人がいる中で、買いすぎない・残さない・手前取りを意識して食品ロスをなくしていこう』、『世界には、遠い水場に何度も通わなければならない人々がいる中で、日本では当たり前のように衛生的で安全な水を使っているのだから、一滴の水も無駄にすることがないように広く啓発して、水を大切に使いいこう』と呼びかけた児童、また『ジェンダー平等について日本は進んでいると思っていたが、調べてみると世界に後れをとっていることがわかり、家事や育児などの日常生活から政治に至るまで、意識を高めて実現していかなければいけない』と述べた児童もいました。その中で学校代表に選ばれたのは、『自然豊かな沖縄の海に囲まれた離島に暮らしていた自分が、突然横浜に転居することになったが、海藻を採って食べたり潜ってサンゴを見たりすることはできない横浜の海も、それができる沖縄の海とつながっている。美しく見える沖縄の海は、実は国内外からゴミがたくさん流れ着いているため、島内外の人たちが協力して美しい海を守っている。そのことをより多くの人たちに広く知らせ、この横浜の地でもこの課題に興味をもってもらい、つながって一緒に行動していくことで、今まで以上に大きな力で海を守っていきたい。』という児童のスピーチでした。そして、先日行われた南区審査会では、堂々としたスピーチと発表内容が評価を受け、見事に優秀賞に選ばれました。学校の代表児童が優秀賞に選ばれたことは、大変喜ばしく誇らしいことです。児童本人にとっても、発表の応援に同行した児童にとっても、また会場には行かれなかったものの取組全体を通してお互いのスピーチを聴き合った仲間にとっても、とても素晴らしい経験になりました。

自分の思いや気づきを文字に(言語化)すること、発表という形でそれを相手に伝えること、相手が伝えたいことを耳だけでなく目と心とを合わせて聴くこと、それはまさに本校が力を入れているコミュニケーション能力の育成につながる活動です。今回の「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の取組では、コミュニケーション能力の育成だけでなく、相手が伝えたいことの中から、今まで自分の知らなかったことに気付いたり(学び合う)、相手の意見に共感したりする(響き合う)姿もたくさん見ることができました。これからも、コミュニケーション能力の育成を図りながら、学校教育目標の『学び合い 響き合い』を実現できるよう、教育活動を充実させていきたいと考えています。